

2016年2月号

2月15日(月)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 233



今年の冬はしばれています…

1月から気温が低く、下旬から2月上旬はマイナス20度を超える日がたびたびあり、これぞ温根内の冬という厳しい寒さが続きました。晴れる日が多く、雪が少ない典型的な釧路湿原の冬の気候です。そんなしばれる朝に思い切って早起きをして木道を歩いてみると、いつもとは違う、白く幻想的に輝く湿原が広がっていました。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【カラタチゴゲの仲間】
サルオガセ科
ハンノキの枝や幹についています。これはコケではなく、地衣類と呼ばれる菌類と藻類が共生する不思議な植物です。



【ウメノキゴケの仲間】
ウメノキゴケ科 狸藻
地衣類のウメノキゴケは大気汚染や環境の変化に非常に弱く、これが見られるところは環境が良い場所であることを示しています。



【エソシカの足跡】
シカ科 蝦夷鹿
2つの大きな蹄の跡が特徴で、その後ろに小さな副蹄の跡が見られることもあります。いたるところで見られ、その個体数の多さを実感します。



【キタキツネの足跡】
イヌ科 北狐
4本の指と掌の肉球、爪の跡が残るのが特徴で、足跡をたどると食べ物を探して雪上を掘り返したような跡が見られることもあります。



【ネズミ類の食痕】
倒木などの地面に近いところをよく探すと、幅1mm程の歯の跡が付いた食痕が見られます。これはネズミ類が樹皮を食べた痕で、正体はエゾヤチネズミとされます。



【エソユキウサギの食痕】
エソユキウサギの食痕は幅が3mm程の歯の跡が付きます。細い枝は噛み切るので先端が滑らかになります。近くに落ちている丸い糞も識別のポイントです。

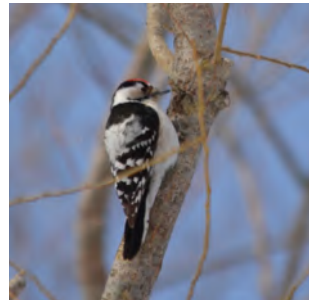
○表紙の写真 上: マイナス20°Cの湿原 中右: エナガ 中左: 霜の降りたハンノキの花芽 下: 冬のやちぼうす

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

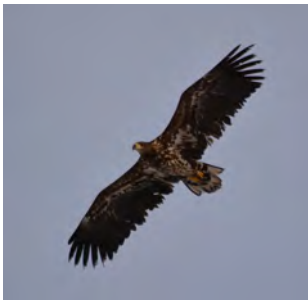
今年の冬は、温根内常連の冬鳥たちが非常に少ない傾向が続いています。マヒワやベニヒワが全く見らず、とても寂しい限りです。きっともつと餌のあるところで越冬しているのでしょう。来シーズンの飛来に期待しましょう。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出しています。暖かい格好で冬の野鳥観察をお楽しみください。



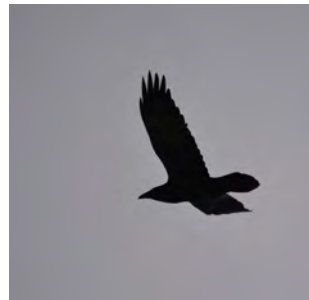
【エナガ】 留鳥
エナガ科 柄長
一年中温根内にいますが、冬は群れで行動します。北海道は亜種シマエナガで、顔が真っ白なのが特徴です。とても人気のある野鳥です。



【コアカゲラ】 留鳥
キツツキ科 小赤啄木鳥
滅多に出会うことがない珍しいキツツキです。コゲラよりも少し大きく、アカゲラのように腹が赤くありません。道東を中心に生息。



【オジロワシ(幼鳥)】
タカ科 尾白鷲 留鳥・冬鳥
幼鳥は全体に白っぽい羽が混ざり、尾羽が完全に白くなく、嘴も先端に黒い部分が残っています。成鳥羽になるまでは6年ほどかかります。



【ワタリガラス】 冬鳥
カラス科 渡鴉
冬になると北海道東部を中心に渡ってきます。「カオカオ」や「アオアオ」などよく通る大きな声で鳴くので、その存在に気づきます。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(1月15日～2月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■オオハクチョウ ■マガモ ■タンチョウ ■クイナ(何者かに捕食されて散乱した羽毛) ■トビ ■オジロワシ ■オオワシ ■ノスリ ■ヤマセミ ■コゲラ ■コアカゲラ ■アカゲラ ■モズ ■カケス ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■ワタリガラス ■ハシブトガラ ■シジュウカラ ■ヒヨドリ ■エナガ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■トラツグミ ■ツグミ ■セグロセキレイ

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



○「厳冬の湿原ハイク」1月17日(日) 参加者15名

釧路市立博物館学芸員の貞國氏を講師に、ビジターセンター周辺で動物の足跡や食痕、糞などの痕跡探しを行う観察会を実施しました。はじめにセンター内で釧路湿原に棲むほ乳類とその生態、足跡などの説明と、痕跡を探すポイントなどが貞國氏より説明がありました。野外で様々な痕跡を見つけると、じっくりと痕跡を眺めて、想像を膨らませて行動を推測すると、何をしていたのか分かることがあり、それが冬の痕跡探しの楽しみであるというお話がありました。



○「歩くスキーで湿原ハイク」2月7日(日) 参加者12名

釧路湿原パークボランティアの若山氏を講師に、冬の湿原を歩くスキーで楽しむイベントを開催しました。最初にビジターセンター裏の森で足慣らしをしてから、周辺に棲む動物たちの痕跡を探したり、隠したぬいぐるみを探したり、楽しみながら冬の湿原を観察しました。真冬でも凍らない湧水では水温を測り、凍らない理由やそこに集まる生き物、湿原にとっての重要性などのお話がありました。

☆☆☆☆イベントのご案内（3月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪湿原の裏山でスノーシューハイク

〔日時〕3月6日（日）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

雪の上でも歩けるスノーシューを使って湿原の周りの森を観察しながら、普段は行けない裏山の展望地を目指します。ビジターセンター裏の丘を登るので、少し体力が必要です。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪釧路湿原フィールドウォッチング

〔日時〕3月5日（土）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

☆☆☆今年も歩くスキーの無料レンタルを始めました☆☆☆

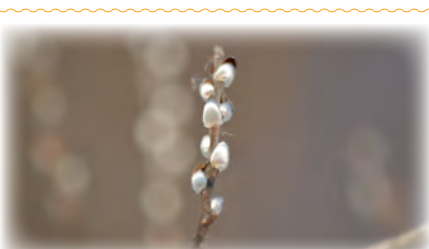


今シーズンは今のところ昨年と比べて雪が少なく、木道上は一部雪の付いていない場所があるなど、コースに制限がありますが、鶴居軌道跡や新釧路川右岸堤防はしっかりと雪が積もっていますので、十分に楽しめます。例年3月上旬までは楽しめますので、ぜひ雪のあるうちに遊びに来てください。また、スノーシューも無料で貸し出していますので、こちらもご利用ください。

☆☆☆ビジターセンターの建て替えが決まりました☆☆☆



平成4年に完成した温根内ビジターセンターは、親しみやすい牧舎風の外観で、温根内探勝歩道を利用する多くの利用者に親しまれてきました。近年、利用者の増加や多様化するニーズに応える事が難しいなどの理由から建て替えが決まり、今年度をもちまして24年の歴史に幕を閉じることとなりました。今年4月から1年間かけて同じ場所に新しいビジターセンターが整備されます。規模は拡大し、機能も充実する予定です。工事期間中の運営は小さな仮設ビジターセンターで行います。色々とお不便をおかけするかと思いますが、来年4月の新ビジターセンター完成を楽しみにお待ちください。



ナガバヤナギの冬芽がネコヤナギ状態になっていました。ハシブトガラのおさえずりも始まり、少しずつですが、春の気配を感じられるようになりました。

月刊 温根内通信 No.233

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/

Facebook：https://www.facebook.com/Onnenai.VC

開館時間：10:00～16:00（4月～10月は17:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館） 入館無料